

河川改修に伴う交差点改良②

交差点形状の検討

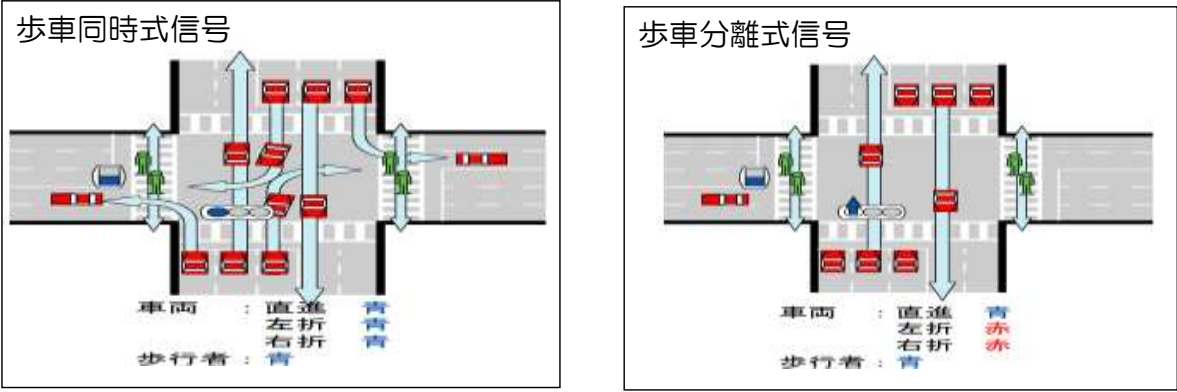
中央橋交差点の計画に係る課題検討にあたっては、地域の関係者、県・市の道路管理者及び交通管理者等から構成される「中央橋架け替えに関わる検討委員会」を設置し完成後の交差点の形について検討が行われました。

交差点形状の検討にあたっては、シミュレーションによる交通解析を実施し、横断歩道の設置等による交通渋滞長等の周辺交通への影響について予測を行いました。

【交差点検討のポイント】

① 交差点の信号処理方式

横断歩道橋による歩行者通行と同等の歩行者安全性を横断歩道でも確保するため、歩車分離式を採用しました。



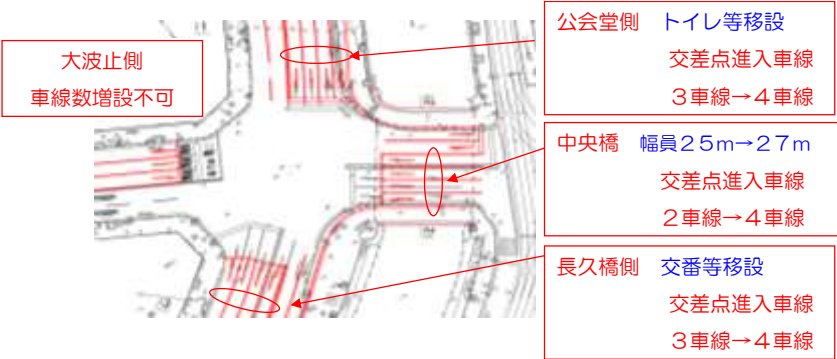
② 横断歩道形状

交差点改良検討における最大の検討課題であった横断歩道形状については、シミュレーションの結果を踏まえた検討により、交差点4方向のうち、公会堂方面を除く3方向（コの字形）に横断歩道を設置することになりました。

横断歩道設置のための方策

横断歩道設置のために、以下のような方策が講じられました。

- ① 車線数の増設・・・大波止側を除く3方向において歩道の改築や中央橋の拡幅により車線の増設を行いました。
- ② 車線構成の変更・・・歩車分離式の信号方式への対応を含めてシミュレーション結果を踏まえて最適な車線構成（右、左、直進等レーン設定）を検討しました。
- ③ 信号サイクルの変更・・・最適な信号サイクルをシミュレーションにより検討しました。



（中央橋交差点部平面図）

黒線：交差点改良前、赤線：交差点改良計画



（左上写真：トイレ・大気観測施設、右上写真：交番）

交差点の改良にあたり、これらの施設の移設を行いました。